

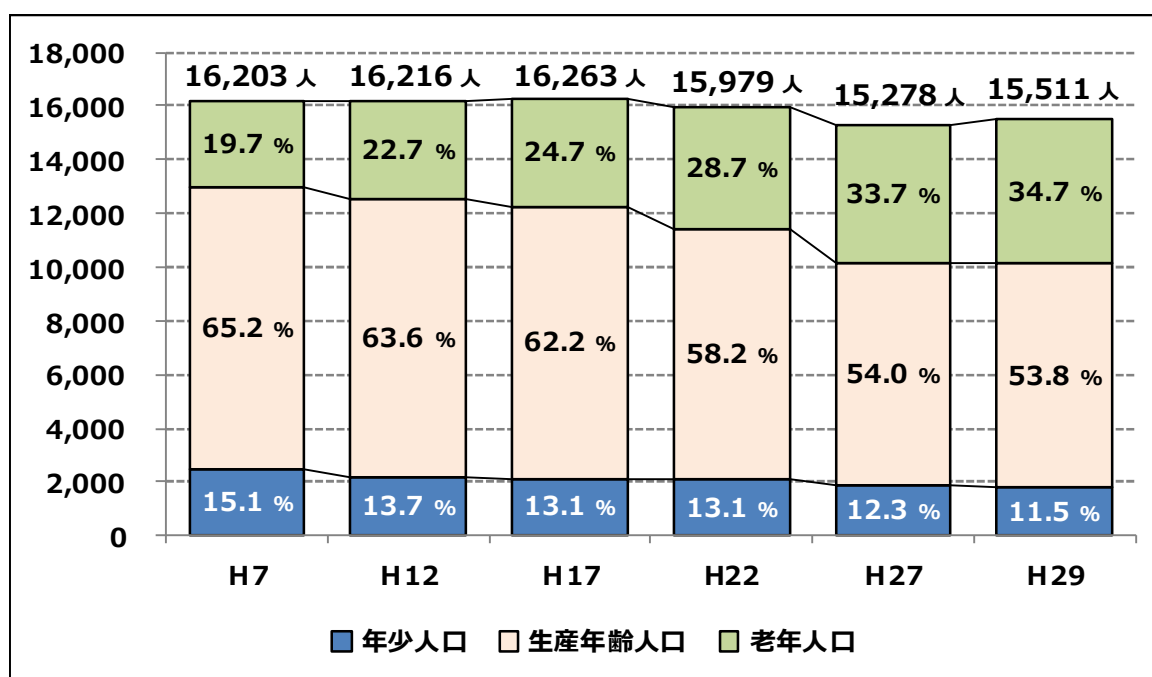
第 2 章 地域福祉を取り巻く状況

1 田布施町の状況

(1) 人口・世帯の状況

I 人口の推移

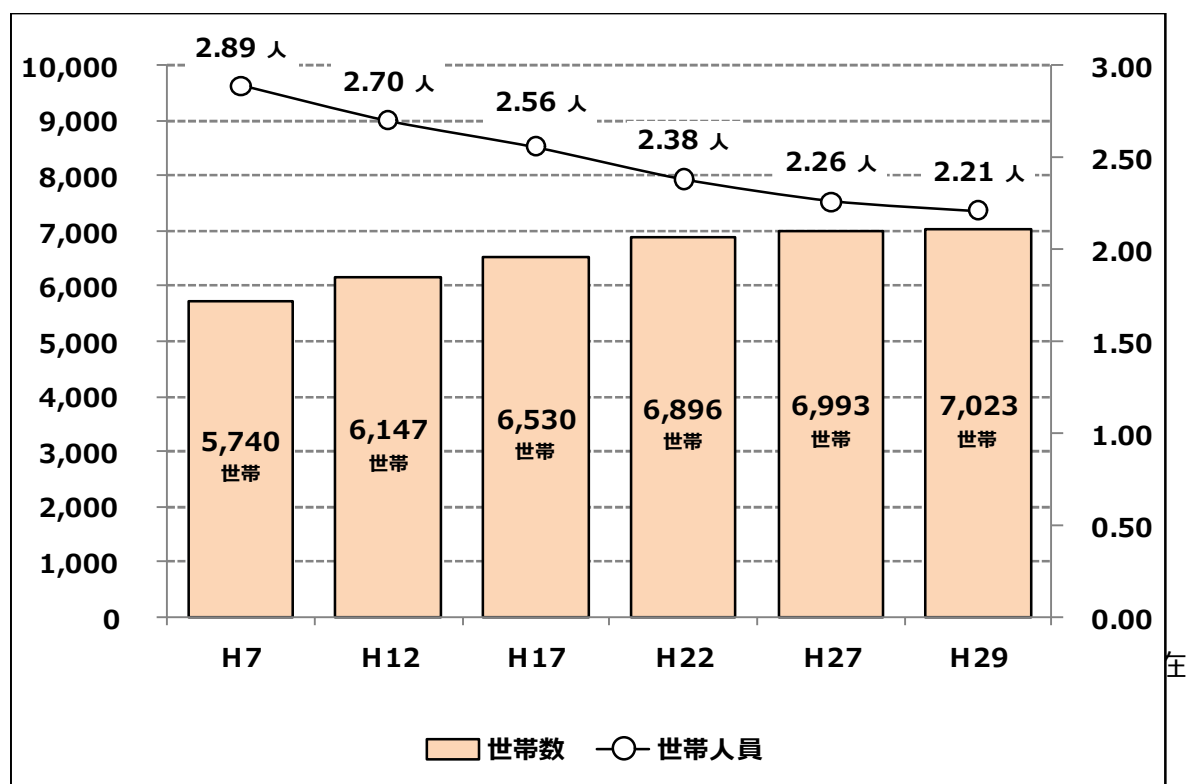
	H7	H12	H17	H22	H27	H29
総人口	16,203 人	16,216 人	16,263 人	15,979 人	15,278 人	15,511 人
年少人口 (0～14 歳)	2,444 人	2,214 人	2,132 人	2,100 人	1,875 人	1,782 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	10,563 人	10,319 人	10,112 人	9,295 人	8,250 人	8,351 人
老年人口 (65 歳以上)	3,196 人	3,683 人	4,019 人	4,584 人	5,153 人	5,378 人



資料：平成 7～27 年…国勢調査（企画財政課）※各年 10 月 1 日現在
平成 29 年…年齢別人口調査（町民福祉課）※10 月 1 日現在

Ⅱ 世帯の推移

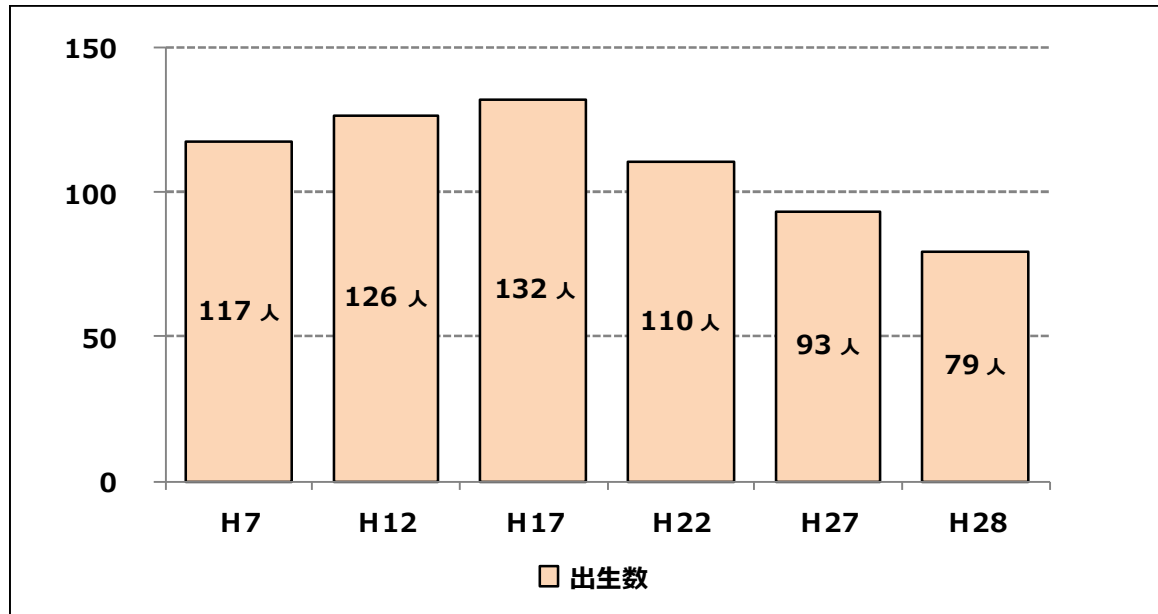
	H7	H12	H17	H22	H27	H29
世帯数	5,740 世帯	6,147 世帯	6,530 世帯	6,896 世帯	6,993 世帯	7,023 世帯
世帯人員	2.89 人	2.70 人	2.56 人	2.38 人	2.26 人	2.21 人



(2) 子どもの状況

I 出生数の推移

	H7	H12	H17	H22	H27	H28
出生数	117人	126人	132人	110人	93人	79人



資料：住民基本台帳（町民福祉課）※各年4月1日～3月31日

Ⅱ 保育所の入所児童数

保育所名	定員	入所児童数			
		3歳未満	3歳	4歳以上	合計
城南	60人	6人	4人	5人	15人
麻里府	60人	6人	2人	7人	15人
田布施第1	160人	12人	34人	75人	121人
田布施第2	70人	29人	－	－	29人
田布施第3	60人	8人	11人	22人	41人
管外	－	15人	2人	9人	26人
合計	410人	76人	53人	118人	247人

資料：町民福祉課 ※平成29年4月1日現在

Ⅲ 小学校の児童数

小学校名	児童数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
城南	12人	12人	7人	15人	21人	15人	2人	84人
田布施西	29人	33人	32人	28人	39人	36人	8人	205人
東田布施	43人	45人	57人	50人	34人	55人	10人	294人
麻郷	26人	35人	39人	33人	35人	48人	3人	219人
合計	110人	125人	135人	126人	129人	154人	23人	802人

資料：学校教育課 ※平成29年5月1日現在

Ⅳ 中学校の生徒数

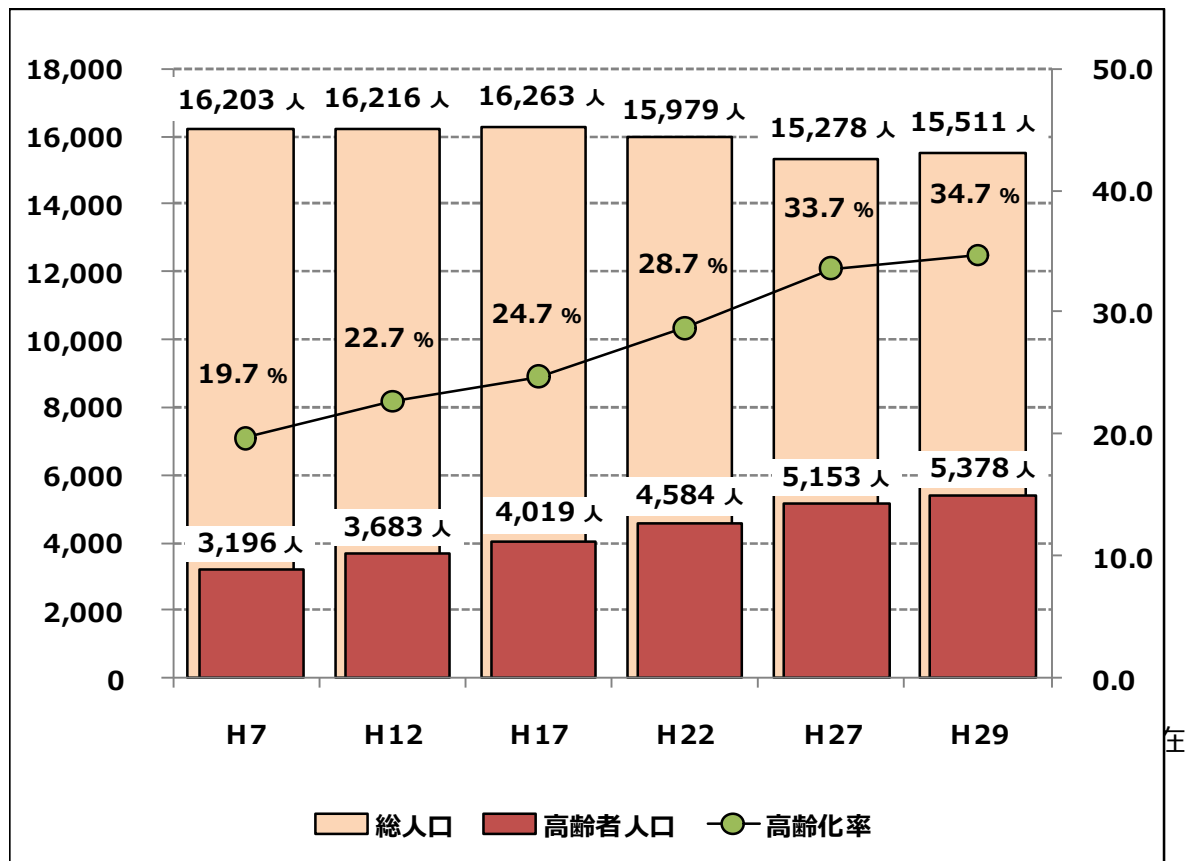
中学校名	生徒数				
	1年	2年	3年	特別支援	合計
田布施	121人	140人	125人	13人	399人

資料：学校教育課 ※平成29年5月1日現在

(3) 高齢者の状況

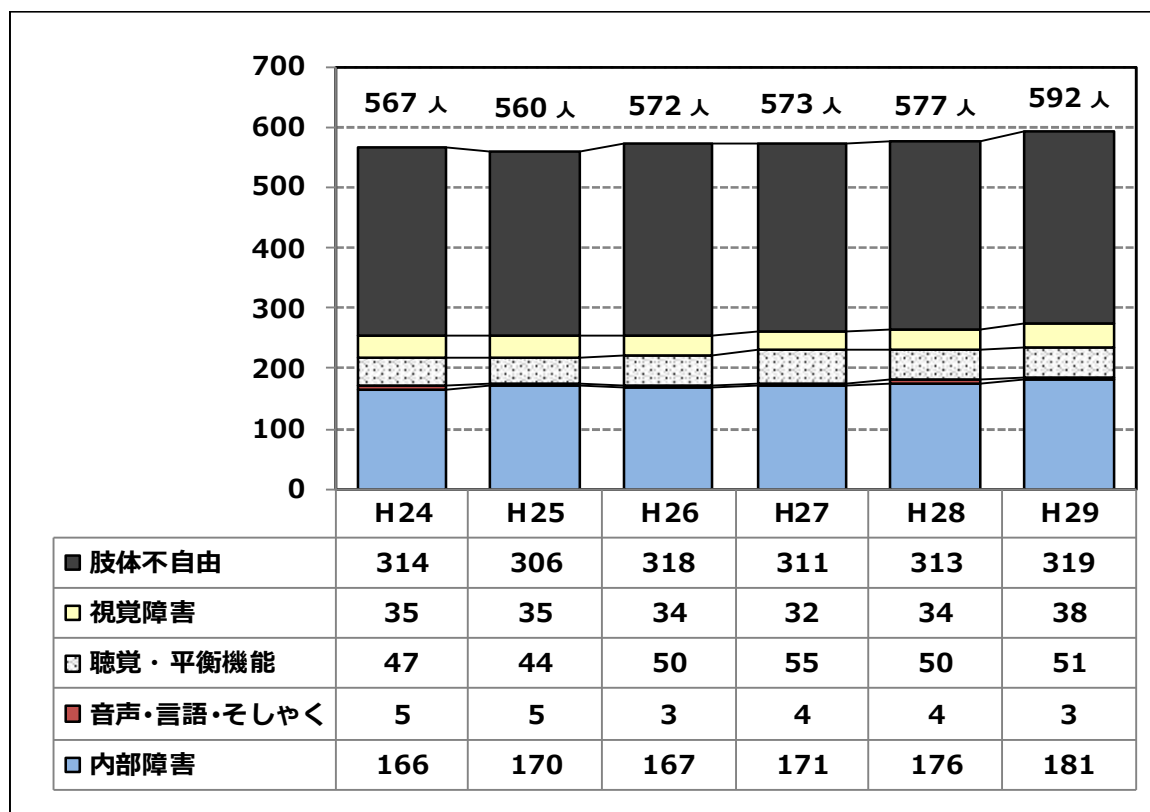
I 高齢者人口の推移

	H7	H12	H17	H22	H27	H29
総人口	16,203 人	16,216 人	16,263 人	15,979 人	15,278 人	15,511 人
高齢者人口 (65 歳以上)	3,196 人	3,683 人	4,019 人	4,584 人	5,153 人	5,378 人
高齢化率	19.7%	22.7%	24.7%	28.7%	33.7%	34.7%

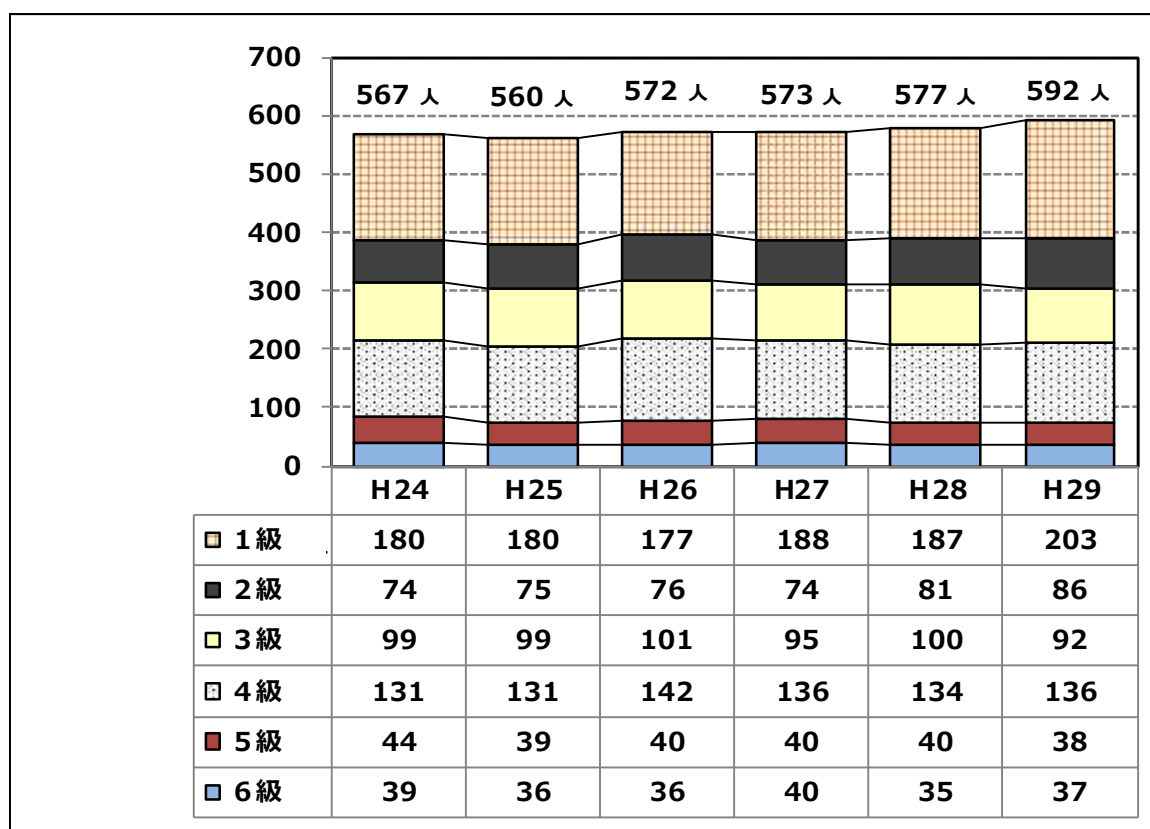


(4) 障がいのある人の状況

I 身体障害者手帳所持者の状況

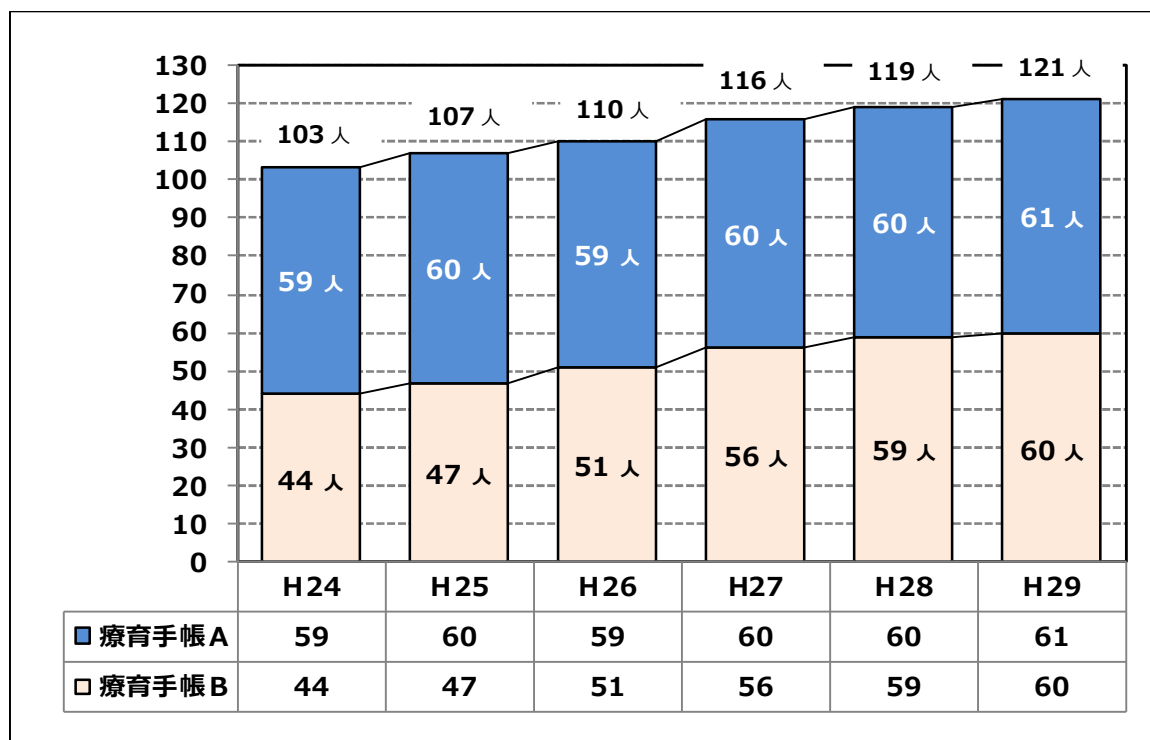


資料：町民福祉課 ※各年4月1日現在



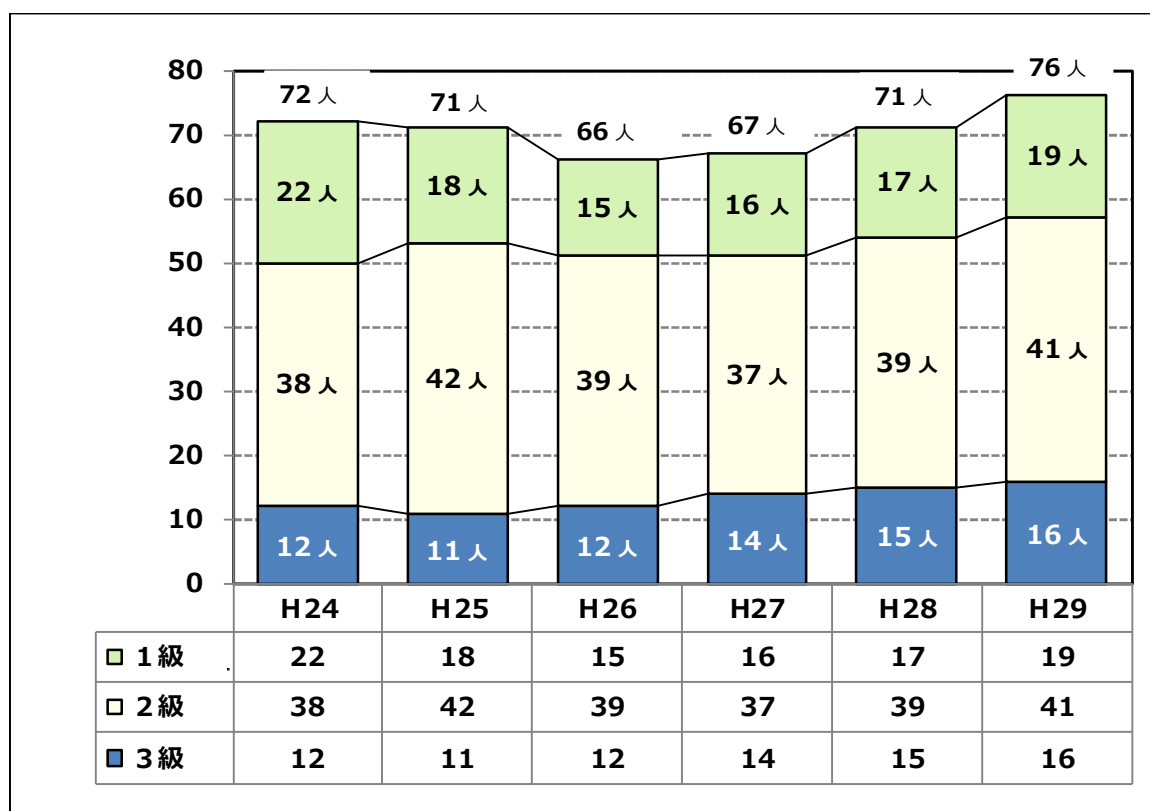
資料：町民福祉課 ※各年4月1日現在

Ⅱ 療育手帳所持者の推移



資料：町民福祉課 ※各年4月1日現在

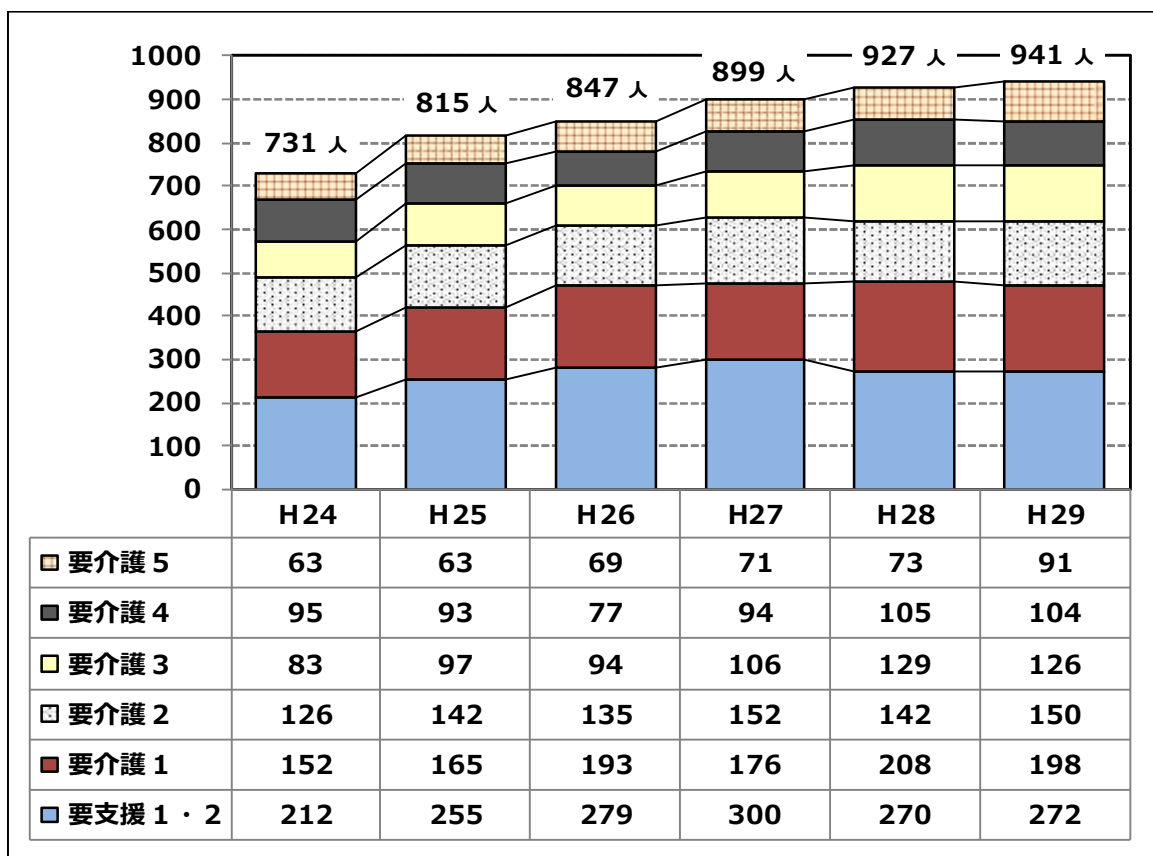
Ⅲ 精神障害者保健福祉手帳所持者の推移



資料：山口県 ※各年4月1日現在

(5) 介護保険の状況

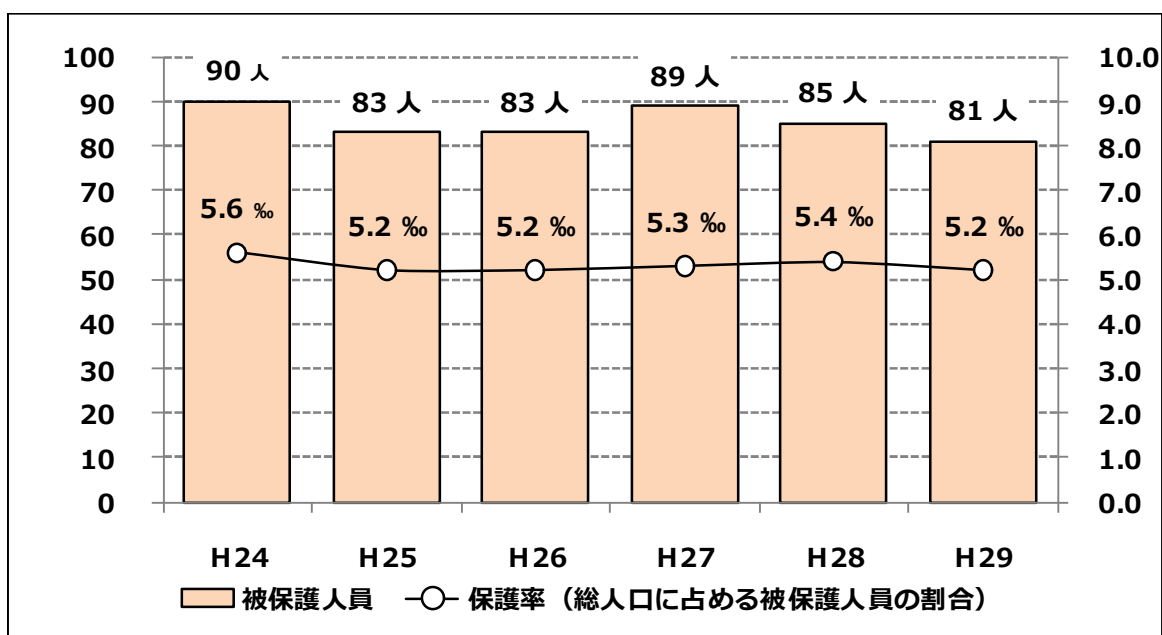
I 要介護（要支援）認定者数の推移



資料：健康保険課 ※各年4月1日現在

(6) 生活保護受給者の状況

I 生活保護の被保護人員と保護率の推移

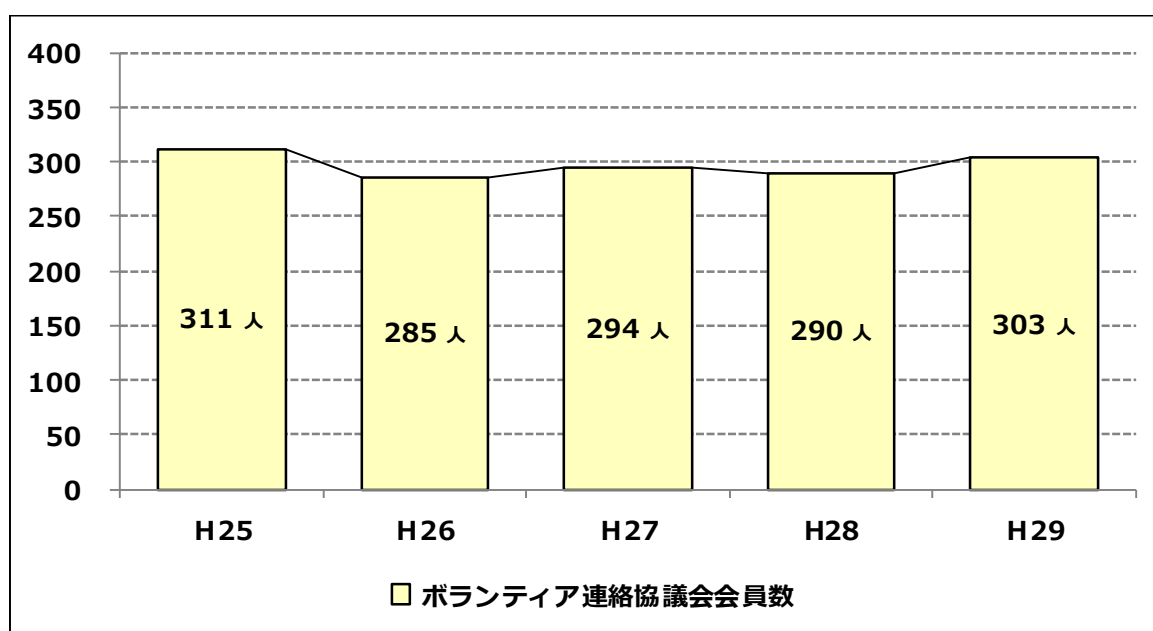


資料：町民福祉課 ※各年4月1日現在

(7) ボランティアグループの状況

I 田布施町ボランティア連絡協議会会員数の推移

	H25	H26	H27	H28	H29
団体数	26 団体	24 団体	25 団体	23 団体	23 団体
	343 人	308 人	311 人	314 人	310 人
個人	19 人	23 人	30 人	31 人	32 人
合計 (重複を除いた人数)	311 人	285 人	294 人	290 人	303 人



資料：田布施町社会福祉協議会 ※各年4月1日現在

2 住民の福祉に関する意識（アンケート結果より）

① 地域への関わり

近所の人とのつきあいでは、「ほとんど関わりがない」と回答している人が**2.4%**で、「親しくつき合っている人がいる」、「会ったときにあいさつする」、「地域行事や自治会活動で関わる」と回答した人は**96.3%**であったことから、ほとんどの人が地域となんらかの関わりを持って生活しています。

その中で社会的に弱い立場の人への支援については、「支援したい」、「支援したいが何をすればいいのか分からない」との回答が**49.7%**で、町民の約半数が支援することに前向きな回答でした。

しかし、共生社会を築くためにもさらに「あいサポート運動」などを通じた啓発活動を行って、支援をすることに興味を示さない人にできるだけ関心を持ってもらえるような施策が必要であると感じました。

援助が必要なときに、家族や親戚以外で誰に相談しますかとの問いには「近所の人」が「友人・知人」に次いで2番目に多い**30.5%**の人が回答しています。

② 必要とされる施策

必要とされる施策について**30%**を超えて上位を占めた回答について整理すると、下記のとおりとなりました。

・子育ての環境に対する施策

- ① 経済的援助の拡充
- ② 子どもが安心して遊べる施設の整備
- ③ 相談窓口の整備

・高齢者に対する施策

- ① 介護をする家族に対する支援
- ② 介護を受けられる施設の整備
- ③ サロンなど楽しく集まれる場の整備
- ④ やりがいや生きがいづくりの充実
- ⑤ 声掛けなどの見守り活動や安否確認の推進
- ⑥ 介護や福祉サービスなどの情報提供の充実

・障がいのある人に対する施策

- ① 働く場所の確保
- ② 子どもが訓練を受けれる場の確保
- ③ 医療が必要な人への支援
- ④ 公共施設や公園、道路、住宅の環境整備
- ⑤ 相談窓口の充実

・災害時に地域で支え合うための施策

- ①日頃からの近所の人との交流
- ②地域の災害時要支援者を記載した名簿や地図の作成・情報共有
- ③定期的な防災訓練・避難訓練・避難所運営訓練の実施

各施策において、「相談窓口の整備や充実」が回答の上位にランクされていました。行政として相談体制の整備や情報提供に関して、啓発活動や組織体制の見直しなどにより、さらに充実した体制整備をおこなっていく必要があります。また、災害時における要支援者の情報共有についても、町が作成している「避難行動要支援者名簿」への登録の促進、町社会福祉協議会で作成している「住民支え合いマップ」の有効活用など今後検討する課題も見つかりました。

「子育てにおける経済的援助の拡充」、「高齢者介護をする家族に対する支援」、「障がいのある人が働くことができる場所の確保」などはアンケートの回答の最上位であり、現在町や町社会福祉協議会が行っている各種の福祉サービスについて、利用しやすい環境づくりや新たなサービスの要望などの集約により、安心して利用できる福祉サービスを展開・推進していくことが求められています。

町や町社会福祉協議会が取り組む優先的な施策では、施設整備やサービスの充実や支援のほか「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」、「福祉活動を行う人の人材発掘・人材育成」、「ボランティアなどの参加の促進や支援」など住民、地域、事業者、ボランティア団体が連携し、情報提供や環境整備を優先して実施するように町や町社会福祉協議会に要望しています。しかし、ボランティア活動に対するアンケートで「活動に参加していない」は **60%** を超えており、今後どのようなボランティア活動に参加したいですかとの回答で **26.6%** が「参加したい活動はない」と回答しています。

町や町社会福祉協議会が住民の活動を支援し、共に支え合える地域社会を実現するためには、このように回答した人にボランティア活動に関心を持ってもらえるような啓発活動や仕組みづくりを進めることが重要です。